

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	佐賀短期大学	整理番号	2-5-010
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	高齢者の生きがいきづくりと学生の人間教育		
申請単位	短期大学全体		
申請担当者	福元 裕 二		
<p>(取組の概要)</p> <p>佐賀短期大学は健康福祉・生涯学習センターにおいて地域の高齢者に4年間の体系学修が受けられるエルダーカレッジを開設した。ここでの学修は、4年間で短期大学の卒業要件を満たすに十分な時間数と短期大学の水準を維持した授業内容となっている。エルダーカレッジで学ぶ高齢者は豊かな人生経験を有し年齢を感じさせない強い学修意欲を持っており、生きがいきづくりに成功している。</p> <p>センター10年間の活動の中で、高齢者と短期大学で学ぶ学生との間で様々な交流が行われるようになり、異世代交流が高齢者と若い学生の双方にプラスの教育効果を生み出すことが明らかになった。これを更に発展させ、高齢者の知識と経験を若い学生の人間教育に生かすためエルダーカレッジ生による短大学生への教育支援を試み一定の成果を挙げている。高齢者の生きがいきづくりと若者の人間教育を共に可能とするセンターと短大とのコラボレーションは、今後、新たな短期大学教育の方向性を示すものと期待できる。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、「人間の健康との福祉の分野で貢献できる人材の育成」を目指す佐賀短期大学が、「地域と共生」するために計画されたもので、平成6年、健康福祉・生涯学習センターの創設が大学全体の意思決定機関で決定されて開設され、そこを中心にした生涯学習推進型取組であります。特に公開講座プログラムを手がかりに、高齢者を対象にした「エルダー・カレッジ」の取組は、そのシステムや運営をふくめて地域と大学の連携という観点での短期大学の今後の方向を示す優れた特色ある試みであり、高く評価することができます。実績も積み重ねられており、またこの「エルダー・カレッジ」への地域の住民の参加も多く、このプログラムが計画においても、運営においても優れていることをあらわしています。</p> <p>今後も実績を積み重ねて、若い学生と高齢者が短期大学でともに学ぶことの積極的な成果を生み出し、ひろく他大学の参考になる取組として本取組を充実させることを期待します。</p>			